

在宅医療連携アドバイザー会議でのMMWINのご紹介

2017年8月3日に行われました大河原町役場様主催の在宅医療連携アドバイザー会議で、MMWINのご紹介を実施しました。

当日は医師・薬剤師・介護福祉施設関係者等の方々に対し、MMWINの設立経緯や現在までの取り組み実績の報告に加え、MMWIN活用による医療介護連携の姿および介護福祉施設様のメリットをご説明致しました。

厚労省が推進する地域包括ケアの推進には、医療と介護福祉施設間の効率的・効果的な情報連携が必須であると思料しますので、引き続き、大河原町役場様と連携し、医療介護連携の実現へ向け、情報連携をサポートする情報インフラとしてMMWINをご活用いただけるよう尽力したいと考えております。



東松島市がMMWINに入会しました

本年7月に東松島市役所(福祉課)・社会福祉協議会(指定介護支援事業所)(地域包括支援センター)でMMWINに参加申込をいただきました。

東松島市はMMWINネットワークの利用により医療介護の情報連携を行い市民の保健福祉向上を図る地域包括ケアシステムを推進することにしております。事業所間ではMMWINネットワーク上で医療・介護・福祉情報を共有して「ペーパーレス」化を進め、各種情報を参照して福祉・介護のサービスを迅速かつ的確に提供可能となります。市民の方々にもMMWIN参加を促し、東松島市全体で地域医療・福祉の向上に役立てたいとの意向です。



仙台市老人福祉施設協議会でのMMWINのご紹介

仙台市老人福祉施設協議会の庄子会長、折腹副会長のご協力もあり、2017年9月6日に行われました仙台市老人福祉施設協議会の理事会で、MMWINのご紹介を実施することができました。

当日は、同協会の理事の方々、MMWINの設立経緯や現在までの取り組み実績の報告に加え、MMWIN活用による医療介護連携の姿および費用対効果や業務負担の軽減等施設様のメリットをご説明致しました。

厚労省が推進する地域包括ケアの推進には、医療と介護福祉施設間の効率的・効果的な情報連携が必須であると思料します。

同協会では、各理事からのご協力で、10月初旬の会員全施設長会議で、MMWINのご説明を実施する機会までいただきましたので、引き続き、仙台医療圏の医療介護連携の実現へ向け、情報連携をサポートする情報インフラとしてMMWINをご活用いただけるよう尽力したいと考えております。



心不全地域連携パスの運用が始まります

地域連携パスについては、これまで大腿骨頸部骨折、脳卒中に限られていましたが、平成28年度診療報酬改定において、対象疾患の限定がなくなり、すべての疾患が対象となりました。MMWINでは、これまで、スマイルネット(脳卒中連携パス)等の地域連携パスの運用に携わって参りましたが、新たに、大崎市民病院様を地域連携計画策定病院とした「心不全地域連携パス」の運用に携わることとなりました。現在、運用に向けた準備を行っている段階ですが、10月からの運用開始を目指しているところです。心不全連携パスにおける連携医療機関の診療報酬につきましては、下記のとおり算定が可能となります。

診療情報提供料(1) 250点 + 地域連携診療計画加算50点 **計300点**

これまで、紹介後に診療情報提供書や経過報告書等の形で情報提供していた場合、診療報酬の算定はありませんでしたが、心不全地域連携パスの連携医療機関として協力いただく場合は、算定条件として、東北厚生局に対して届け出を行った上で、「大崎市民病院を退院した月又はその翌月に受診し、大崎市民病院に対し診療情報提供書等を提供すること」により300点の算定が可能となります。

また、MMWINのネットワークの活用により、情報のやり取りが簡素化され、情報漏えいのリスク無く情報共有が可能になります。

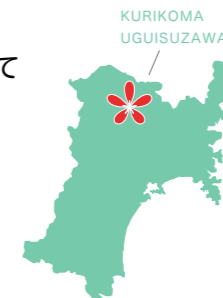
地域連携パスへのご協力をよろしくお願いいたします。

栗駒・鶯沢地区ケアマネージャー連絡会」が開催

9月12日に、栗原市栗駒・鶯沢地域包括支援センターとケアプランセンター彩の里主催による「栗駒・鶯沢地区ケアマネージャー連絡会」が開催されました。

14時から栗原市栗駒総合支所大会議室において「MMWINについて」と題して栗駒・鶯沢地区の介護支援専門員・介護老人福祉施設職員22名の方々に説明しました。

当日は資料とデモ機を使用してMMWIN設立から活用に至るまで説明しました。



会場の様子



参加者の様子

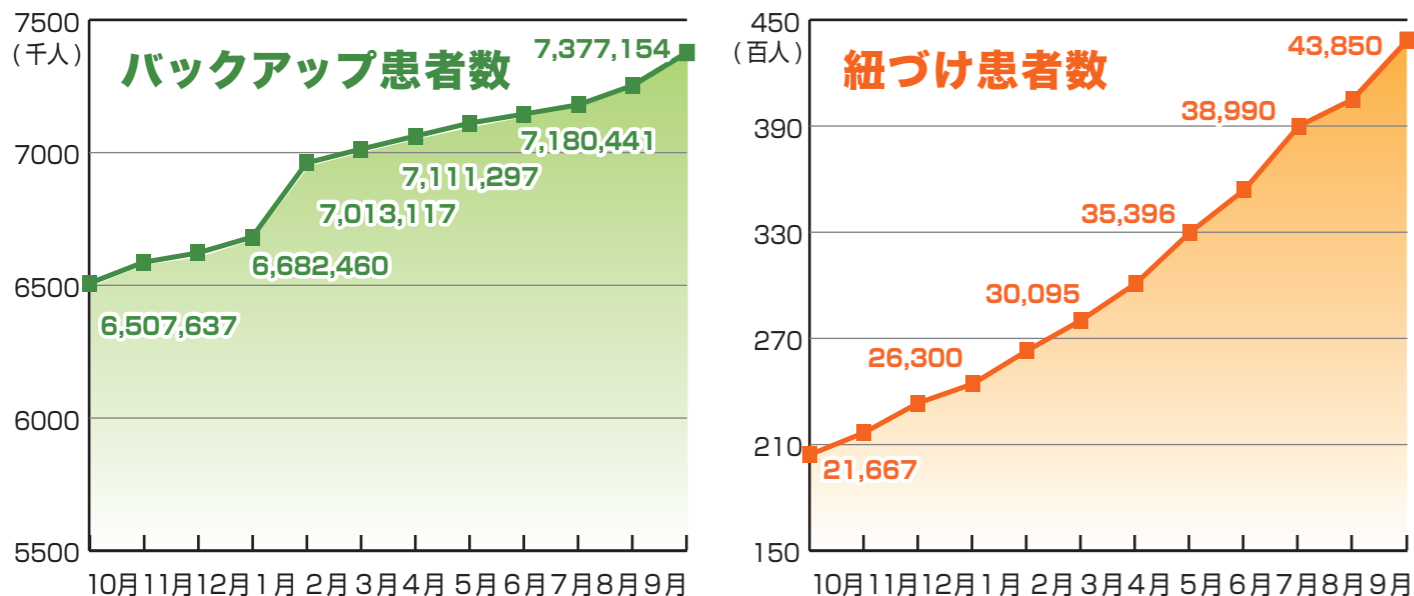
参加者からはシステムの内容や構築に関する事、患者の登録等の質問を頂き、MMWINへの関心の高さを感じました。

今後も地域包括支援の一助となるべく各地区の地域包括システムに関わる方々にMMWINの活用をアピールしてまいりたいと思います。

当日は22名の方にご参加いただきました!

データ推移

バックアップ患者数は前月比+123,449人、紐付け患者数は前月比+2,644人となり、両データ共に、順調な増加傾向にあります。今後ともよろしくお願いたします。



同意患者数が **4万人** 突破！9月5日の「NHK おはよう日本」で取り上げられました

※MMWIN 通信 9月号につきましてバックアップ患者数に誤りがありました。
 正：7,253,705人 誤：7,180,441人

皆さまへお願い

以前よりお知らせしておりますが、MMWIN通信を郵送の他に、各施設のMMWIN使用者に直接メールで送付しております。また、ユーザーズミーティング開催のお知らせ等も送付致しますので、貴施設のMMWIN端末使用者の方のメールアドレスを何件でも構いませんので、可能な範囲でお知らせください。

『koho@mmwin.or.jp』まで、施設名と可能であれば担当者様名をご記入の上、ご登録をお願い致します。右記のQRコードより、メールを送付いただくことも可能です。既にご連絡くださった施設様のアドレスは登録しておりますので、直接配信を開始しております。ご登録、誠にありがとうございました。合わせて、ホームページにて、MMWIN通信や、宮城県医師会報掲載ページのバックナンバーを公開しております。是非、ご覧ください。



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
 〒980-8633 仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館 6階 URL: http://mmwin.or.jp
 サポートセンター TEL: 022-399-6880 サポートセンター E-mail: support@mmwin.or.jp
 事務局 TEL: 022-395-6312 FAX: 022-395-6313 E-mail: office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
 『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
 ※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。

柴田郡 アイランド薬局大河原店様

今回はアイランド薬局大河原店、管理者 佐藤様へ、MMWIN の利用状況、今後への期待等についてお話をお伺いさせていただきました。



アイランド薬局 大河原店



受付の様子

4月10日よりみやぎ県南中核病院でブースを開設し、加入活動を行っておりますが、患者さんからのカードの提示状況はいかがでしょうか？

週 5、6 名程度の患者さんからカードの提示があります。実際は加入しているものの、加入だけで安心して提示されない方が多く見受けられます。当局では独自でビラを作成し、初回の提示を促しています。



管理者 佐藤さん

主な利用方法は？

情報の参照の主はカレンダービューになります。病歴、検査結果、処方情報を参照し禁忌薬の把握などを行います。個人情報保護が厳しくなり、患者さんによっては病気の話をしてくれない人もいるため、病名を推察できない場合があります。

このままで調剤を実施して良いのかと迷う時には、MMWIN を活用して病名などを把握しています。また、お薬手帳を持参されない患者さんも多いため、代替ツールとしても利用しています。

【かかりつけ薬剤師】制度との関連はありますか？

検査結果の数値や診療経過情報を踏まえて調剤内容の説明ができることは患者さんの安心感につながると思いますので、かかりつけ薬剤師にお任せされている患者さんは MMWIN に極力参加していただきたいと思います。



説明の様子



今後 MMWIN に期待することはありますか？

地域包括ケアを実現するためには、診療所や介護施設にさらに多く施設が加入することを期待します。また、当局は福島県に多くの店舗がありますので、他県との連携についても進めていただきたいです。

◀アイランド薬局では独自にチラシを作成し、カードの提示を積極的に呼びかけています。

編集後記

佐藤先生のお話から、調剤業務は当然のこと、患者さんのパートナー、アドバイザーとしての役割を強く意識されていることが伝わってまいりました。MMWIN がアイランド薬局様と患者さんとの間の橋渡しになるよう、今後も連携の拡大や利活用推進に努めてまいります。(井戸、嵐田)